

【講演者紹介】

Dr. Ian G. McKinley

スイス放射性廃棄物管理協同組合（Nagra） 上席相談役（Executive Consultant）

＜経歴概要＞

グラスゴー大学化学科卒業後、1979 年、同大学にて博士号取得（化学）。英国地質科学研究所（現英国地質調査所）放射化学者を経て、1987 年までスイス連邦原子炉研究所に研究員として勤務。この間、再処理施設や処分場からの放射性物質の移行に関する研究、「1985 年保証プロジェクト（スイスにおける安全な処分施設の実現に関する基本的な概念の分析）」報告書の安全評価等に従事。1987 年よりスイス放射性廃棄物管理協同組合（Nagra）に勤務。同組合において、1997 年まで研究開発コーディネータ、2004 年まで国際支援・協力本部長を務め、2005 年に上席相談役に就任した。「クリスタリン-I プロジェクト（スイス北部の結晶質岩を対象とした地層処分の実現可能性に関する調査研究計画）」の総括、報告書の作成管理、グリムゼル岩盤研究所における国際共同研究プログラムの総括を担当するほか、国際原子力機関（IAEA）をはじめとする国際機関の委員会等で活躍。これまでに 3 冊の著書（共著含む）があるほか、まとめた論文は 150 編を超える。

わが国では、「高レベル放射性廃棄物地層処分研究開発の技術報告書」（H3 レポート）の取りまとめ作業に直接係わるとともに、「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性—地層処分研究開発第 2 次取りまとめ—」（H12 レポート）、「TRU 廃棄物処分概念とりまとめ」の国際的なレビューの中心的な役割を果たす。現在、原子力発電環境整備機構・技術アドバイザリー国際委員会科学事務局を務める。